

株式会社近藤商会

I 健康経営優良法人に取り組むきっかけについて

人口減少やデジタル化を背景とし、2016年、創立70周年を機に新経営理念の制定ならびにオフィスリノベーションを実施しました。社員がイキイキと働くウェルビーイング経営を宣言し、2017年「第30回 日経ニューオフィス賞 北海道経済産業局長賞」、そして、これまでの取組みが認定基準に合致したため「2021健康優良法人ブライツ500」を受賞しました。

弊社の経営理念＝「私たちは、常に明日を見据え、“最適な策”を提供できるオフィスのプロ集団となり、国家の繁栄に貢献し、全社員の物心両面の幸せを実現します」

近藤商会は、「ヒト・モノ・カネ・情報」4つの経営資源のうち、あえて「ヒト」を重視した経営を実践しています。特に「健康と教育」には徹底的に投資をする。最終的に、「心身共に強い社員の集団にする」事が会社の業績向上および持続発展に必ず結びつく！と信じ、健康経営に積極的に取り組んでいます。

II 自社の主な取り組み

- ①産業医契約、安全衛生委員会の開催(月1回)、全社員のストレスチェックの実施(WEB)
- ②敷地内及び車両内における全面禁煙の実施
- ③全員定期健診&インフルエンザワクチン接種、生活習慣病健診(35歳以上)、胃カメラ検査(希望者)、役員PET検査&脳ドック(3年毎)を全額会社負担で実施
- ④テレワーク7割を実施、在宅勤務が難しい社員向けにサテライトオフィスを設置
- ⑤各地スポーツジムの法人契約(家族も利用可)、本店に卓球ルームを設置



サテライトオフィス



卓球ルーム

- ⑥全社員の事務用イスを高機能製品で統一（10万円程度/脚）
- ⑦マッサージチェア，仮眠スペース，血圧計常備のリラクゼーションルームを設置
- ⑧体調不良時の休養スペース（電動ベッド完備）2部屋を設置



リラクゼーションルーム



体調不良時の休養スペース

- ⑨有給休暇は原則として希望通り取得中
- ⑩オンライン勤怠システムを導入し，適切な残業時間管理を実施
- ⑪「心の癒しとAI研究の一環」として，a i b oを飼う
- ⑫女性社員向けに「気持ちも着替える」更衣室を設置，男性更衣室も新設



aiboのハッピー



女性更衣室

Ⅲ 健康経営の取り組みによる効果

- ①残業時間は，2011年は平均72時間／月，2021年は平均20時間／月以内に減少
- ②社員の働く姿勢に変化。体調管理も仕事として捉え，疲れたらいつでも自由に設備を活用して休み，リフレッシュしたら再開する，メリハリのある働き方に変わった。
- ③儲からないイレギュラー業務をよりシンプルにし，仕事を属人化させずに誰でもカバーできる仕組み作りを進め，大幅な経費圧縮と労働時間短縮につながった。
- ④働く時間や場所を選択でき，育児・介護など諸事情に応じて働くことが可能になった。
※一例として，芦別市で親の介護のため2週間テレワーク勤務の実績あり
- ⑤新聞他メディア取材，講演依頼が増加し，企業イメージの向上，営業基盤の拡大につながっている。
- ⑥実体験に自信を持つ社員が増え，事業活動が活性化している。